

～下畑地区～

下畑地区神楽公演



6月1日(日)、下畑交流館にて「第23回下畑地区神楽公演」が開催されました。

今年の公演には、広島県安芸高田市吉田町から高猿神楽団をお迎えし、「紅葉狩」「悪狐伝」など全5演目が披露されました。

約5時間にわたる公演では、面や衣装の早変わり、息をのむような舞の美しさに、観客の皆さんは終始魅了されていました。

特に注目を集めたのは、高猿神楽団のオリジナル演目「神奈備(かんなび)」。初めて観る演出に、会場からは驚きと感嘆の声があがり、観客の興味を引いていました。

当日は、地域内外からおおよそ250名が来場。最後の団長挨拶には、感謝と感動の拍手が会場いっぱいに響きました。

「下畑地区神楽公演」は、下畑神楽愛好会の皆さんが「新舞をみんなで楽しみたい」との思いから、毎年6月の第1日曜日に開催しています。この活動が今後も続き、地域の交流の輪がますます広がっていくよう支援を継続していきます。

～長谷地区より～

レイクプラザやさかで 手漉き和紙の販売始めました！



三桠の花



長谷地区では、平成27年度から三桠(みつまた)の栽培と加工を行い、美和中学校と協働した手漉き和紙の卒業証書づくりに取り組んできました。令和元年度からは卒業生の胸に飾るコサージュもこの和紙を使用し作っています。

そして令和6年度には、より多くの方々に長谷地区の和紙の魅力を知っていただきたいと、販売に向けた活動を本格的にスタート。県の補助金「やまぐち元気生活圏活力創出事業補助金」を活用し、和紙を使った製品づくりの準備を進めていきました。

手漉き和紙の魅力は、なんといってもその強さと柔らかさ。一枚一枚、厚みや風合いが異なるため、世界に二つと同じものはありません。コサージュ・リースも、和紙を丁寧に曲げて形をつくり上げることで、やさしい温もりと華やかさを感じさせてくれます。

現在、長谷みどりの会のみなさんが心を込めてつくった和紙製品は、美和町の「レイクプラザやさか」にて『長谷和紙』として販売しています。お立ち寄りの際はぜひ手に取っていただき、地域の思いが詰まった一品の魅力をご覧ください。

